

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	電気回路第一演習		
英文授業科目名	Exercises in Electrical Circuit Theory I		
開講年度	2008年度	開講年次	2年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	電子工学科		
担当教官名	和田 光司		
居室	西2-210		

公開E-Mail	授業関連Webページ
和田 : wada@ee.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
電気回路学は、電子工学・情報通信工学の分野において基礎となる専門科目の一つである。本演習では「電気回路学第一」の講義内容をより深く理解するために演習を行う。

【前もって履修しておくべき科目】
微分積分学第一、微分積分学第二、線形代数学第一、線形代数学第二。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
教科書：電気回路1 柴田尚志著（コロナ社） 参考書：基礎電気回路1、基礎電気回路2 末武国弘著（培風館）

電気通信大学 平成20年度シラバス

【授業内容とその進め方】

演習の項目(下記)は「電気回路学第一」と同様であり、講義と並行して演習問題を解いてもらう。

第1回～第3回：電気回路の基礎

回路素子と回路の種類、直流と交流
基本回路素子における電圧と電流の関係、
直列接続と並列接続

第4回～第7回：直流回路

オームの法則、起電力、電圧降下、逆起電力、電圧・電流源
キルヒホッフの法則、重ね合わせの理、テブナンの定理、
ブリッジ回路、ジュールの法則、電力、電力量

第8回：中間試験

第9回～第12回：交流回路

正弦波交流、基本回路素子における正弦波交流電圧と電流の関係
瞬時値を用いる並列回路、直列回路の計算
インピーダンスとアドミタンス、直並列回路

第13回～第14回：フェーザを用いた各種回路の計算、複素数を用いた各種回路
の計算、交流回路網の計算、回路網方程式

第15回：相互誘導回路

第16回：期末試験

理解度及び進捗状況により予定の若干の変更がある。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a)成績評価：出席点,演習,宿題,小テスト：30%

中間試験：35%

期末試験：35%

(b)評価基準：上記の3項目の合計の達成度が60%以上の場合、本科目の単位取得が可能
である。ただし中間、期末試験を受けていない学生については単位認
定はできないので注意する。

【オフィスアワー：授業相談】

随時受け付けます。

【学生へのメッセージ】

講義中に説明する回路素子の性質や各種法則や定理をよく理解する。これらの知識は、電気回路以外に電子回路、システムの設計等に幅広く応用できる。

電気通信大学 平成20年度シラバス

【その他】